

初の開催となった。実行委員長で、同横丁でバーを経営する小野寺雄志さん(49)は「感染対策を行った上で開催だったが、多

宮城、岩手沿岸

「元気な地域大賞」受賞

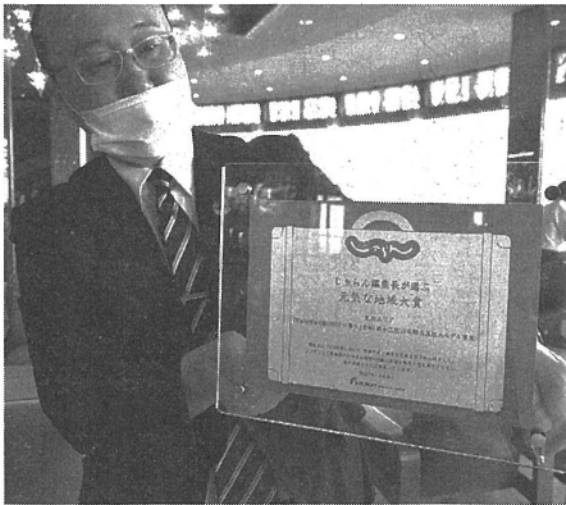
プロジェクト じゃらんアワード

宮城、岩手両県の沿岸部が広域連携して取り組んでいる語り部プロジェクトが、「じゃらんアワード2019」の「じゃらん編集長が選ぶ元気な地域大賞」を受賞した。圏域を超えて東日本大震災の教訓を後世に語り継ぐとともに、インバウ

くの方々に来場していただきうれしい。今後も市民と観光客が交流できる場をつくってきたい」と話した。

ンドを狙った観光コンテツが高い評価を得た。

アワードは、昨年1年間の宿泊施設のサービスや観光振興への優れた取り組みを表彰している。旅行情報誌「じゃらん」や、インターネットサイト「じゃ



元気な地域大賞の盾

らんネット」などの口コミのほか、取り組みの独自性、将来性などが基準になっている。表彰されたプロジェクトは、「Kataribe (語り部) を世界へ」をテーマに、南三陸町から岩手県宮古市までのホテルや観光団体がタッグを組み、「語り部」を世界に通用する取り組みにすることや、共通言語とすることを目標に取り組んでいる。

台湾、アメリカ、タイをターゲットにしたモニターツアー、通訳案内士、情報端末を使って外国人に伝える方策、各地域に建設されている震災伝承施設、遺構を組み合わせた付加価値化も検討している。

このほど、プロジェクトの中心的役割を担った南三陸ホテル観光に主催のリクルートから盾が贈られた。阿部憲子おかみは「それぞれの地域と連携を深め合えたことが大きい。新型コロナウイルスの影響は大きいですが、震災の教訓を後世に伝えていく手法を、これからも考えていきたい」と喜びを語った。

アジサイ鑑賞し
リフレッシュ

種・4万株が植えられ
ており、参加者は特色

いアジサイも植えられているなど見応え十分